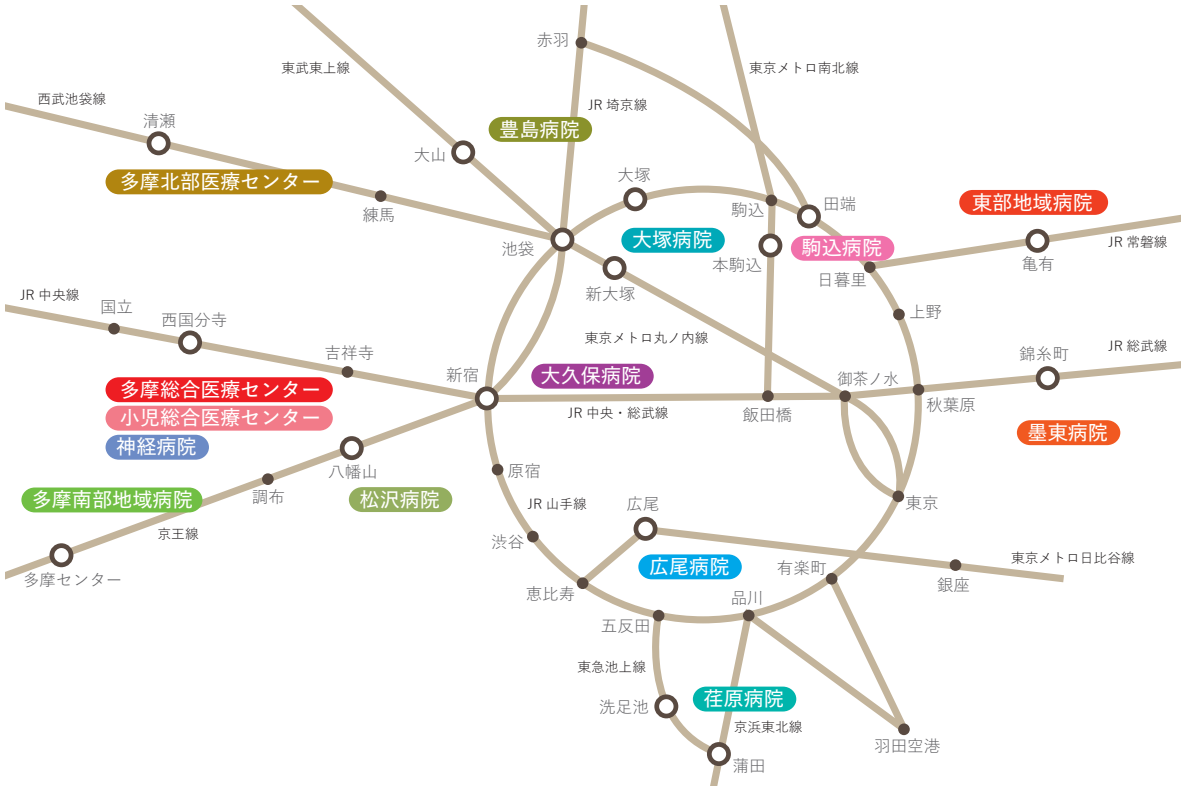


病院一覧

● 広尾病院	☎ 03-3444-1181	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
● 大塚病院	☎ 03-3941-3211	〒170-8476	東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
● 駒込病院	☎ 03-3823-2101	〒113-8677	東京都文京区本駒込三丁目18番22号
● 墨東病院	☎ 03-3633-6151	〒130-8575	東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
● 多摩総合医療センター	☎ 042-323-5111	〒183-8524	東京都府中市武蔵台二丁目8番29号
● 神経病院	☎ 042-323-5110	〒183-0042	東京都府中市武蔵台二丁目6番1号
● 小児総合医療センター	☎ 042-300-5111	〒183-8561	東京都府中市武蔵台二丁目8番29号
● 松沢病院	☎ 03-3303-7211	〒156-0057	東京都世田谷区上北沢二丁目1番1号

※神経病院、小児総合医療センターでは初期臨床研修を実施しておりません。

● 東部地域病院	☎ 03-5682-5111	〒125-8512	東京都葛飾区亀有五丁目14番1号
● 多摩南部地域病院	☎ 042-338-5111	〒206-0036	東京都多摩市中沢二丁目1番2号
● 大久保病院	☎ 03-5273-7711	〒160-8488	東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号
● 多摩北部医療センター	☎ 042-396-3811	〒189-8511	東京都東村山市青葉町一丁目7番1号
● 荏原病院	☎ 03-5734-8000	〒145-0065	東京都大田区東雪谷四丁目5番10号
● 豊島病院	☎ 03-5375-1234	〒173-0015	東京都板橋区栄町33番1号



東京都病院経営本部経営企画部職員課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁 第一本庁舎24階 電話番号 03-5320-5861



令和4年6月発行

登録番号4(3)

令和 5 年度

地方独立行政法人 東京都立病院機構
臨床研修医
募集案内

広尾病院

大塚病院

駒込病院

墨東病院

多摩総合医療センター

松沢病院

東部地域病院

多摩南部地域病院

大久保病院

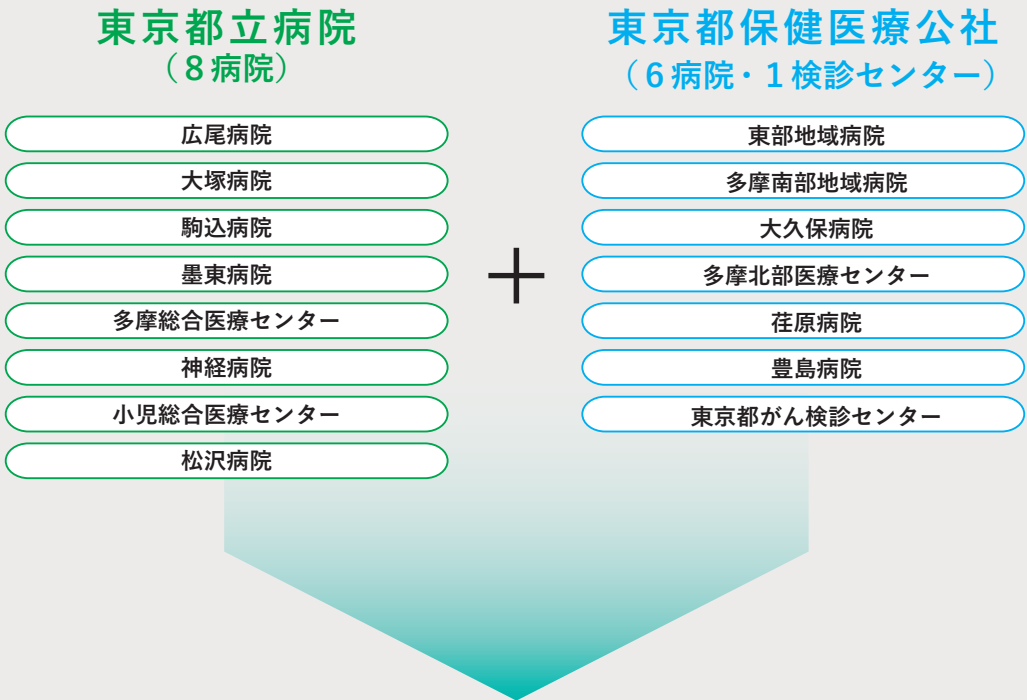
多摩北部医療センター

荏原病院

豊島病院



令和 4 年 7 月、都立病院と公社病院が一体となって
「地方独立行政法人東京都立病院機構」に移行します。



令和 4 年 7 月誕生
地方独立行政法人
東京都立病院機構

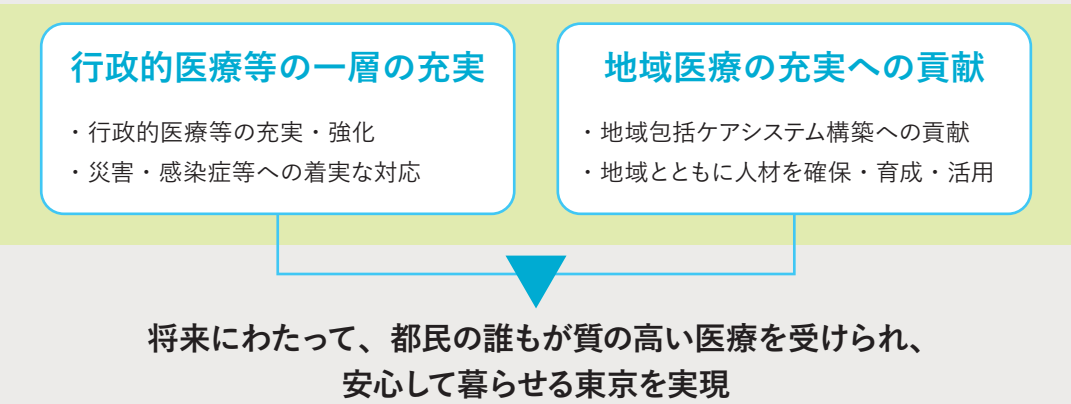
全 14 病院・1 検診センターの、新しい名称はこのようになります。

- 東京都立広尾病院
- 東京都立大久保病院
- 東京都立大塚病院
- 東京都立駒込病院
- 東京都立豊島病院
- 東京都立荏原病院
- 東京都立墨東病院
- 東京都立多摩総合医療センター
- 東京都立多摩北部医療センター
- 東京都立東部地域病院
- 東京都立多摩南部地域病院
- 東京都立神経病院
- 東京都立小児総合医療センター
- 東京都立松沢病院
- 東京都立がん検診センター

※神経病院、小児総合医療センター、がん検診センターでは初期臨床研修を実施していません。

都立病院機構の目指す方向性

高齢化や医療の高度化など医療環境の変化のスピードが加速する中でも独法化のメリットをいかして、柔軟な人材確保や迅速な経営判断などにより都民ニーズに機動的に対応



行政的医療とは

項目及び考え方		医療課題
ア 法令等に基づき 対応が求められる医療	法令上又は歴史的経過から、行政の積極的な関与が期待され、都が主体となって担うべき医療	●精神科救急医療 ●医療観察法医療 ●結核医療 ●感染症医療（主に一類・二類） ●災害医療
イ 社会的要請から 特に対策を講じなければならぬ医療	都民ニーズ、患者ニーズと比較して、一般医療機関等のサービス提供が質的・量的に不足する医療分野について、都の医療政策を推進する上で担うべき医療	
（ア）一般の医療機関 での対応が困難な医療	多様なマンパワーの確保や特別な対応が必要で採算の確保が難しいことなどから、民間の取組が困難な医療	●小児専門医療（心臓病、腎臓病等） ●難病医療 ●アレルギー疾患医療（重症、難治性） ●精神科身体合併症医療 ●精神科専門医療（アルコール、薬物依存等） ●造血幹細胞移植医療 ●エイズ医療 ●救急医療（熱傷等） ●障害者合併症医療 ●障害者歯科医療 ●島しょ医療
（イ）都民ニーズが高く 高度な医療水準とそれを支える総合診療 基盤により対応する医療	都民ニーズが高く、総合診療基盤に支えられたより高度な医療や、合併症等への対応等、他の医療機関を補完するために担うべき医療	●周産期医療（MFICU、NICU 対応等） ●がん医療（難治性、合併症併発等） ●救急医療 （三次、CCU、SCU、二次（休日・全夜間））
ウ 新たな医療課題に 対して先導的に取り組む 必要がある医療	時代に応じた新たな医療課題に対して、一般医療機関の医療提供体制が確立するまでの間対応する医療	●小児がん医療 ●児童・思春期精神科医療 ●移行期医療 ●外国人患者への医療

01 基本的診療能力の修得を ベースとしたプログラム

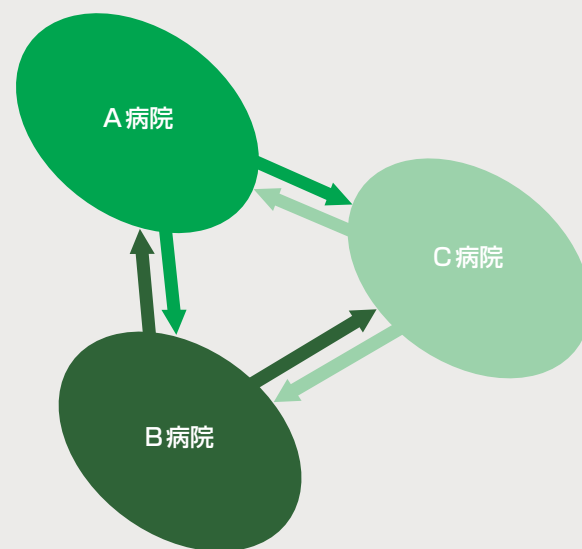
各病院では、臨床研修の基本理念※を遵守した研修プログラムを用意しています。また、必修科目については、全てのプログラムで内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修研修とし、それらの分野の到達目標が達成されるように病院ごとにプログラムを立案しています。目標が達成されていることの確認に研修評価を実施しています。

※臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることができるものでなければならない。

02 病院の特色を活かした プログラム

各病院では、それぞれの特色を活かした魅力ある研修プログラムを用意しています。研修プログラムの詳細については、各病院のホームページをご覧ください。また、臨床研修病院間では右図のような連携体制を構築しており、その結果として各病院の特色を活かした魅力ある研修プログラムが可能になっています。必要に応じて複数の病院で研修を行うことが特徴のひとつです。

※採用選考及びマッチングの希望順位登録は病院ごとに行います。



03 東京医師アカデミーとの 整合性を重視したプログラム

基本的な診療能力を土台とし、さらに総合診療能力を兼ね備えた専門医を育成する専門医受験資格取得等を目的とした東京医師アカデミーの研修プログラム（5 ページ参照）と整合性を持たせた研修プログラムを用意しています。専門医受験資格取得は東京医師アカデミーの目的の一つになっています。

04 研修成果の発表、 指導医と研修医の交流

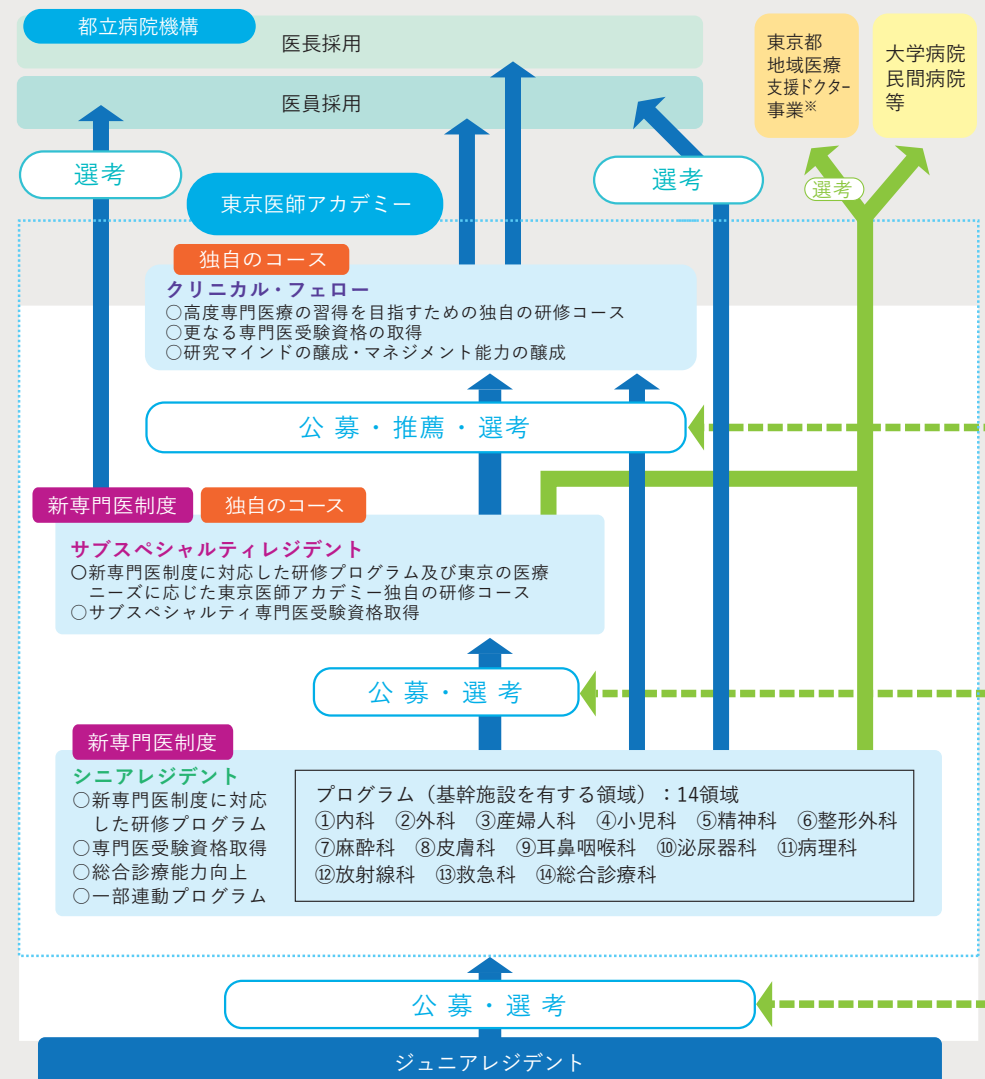
毎年 3 月頃に、12 病院の各病院代表レジデントが研修成果を発表し、指導をあおぐ「ジュニアレジデント合同発表会」を開催しています。

この発表会は、研修医が臨床研修の成果を発表することにより、お互いに医師としての視野を広げることを目的としています。



2 年間の基本的診療分野の研修後、希望者は選考により、「東京医師アカデミー」の体系の中で、専攻医として、専門医受験資格取得等を目的とした専門臨床研修を受けることもできます。また、シニア終了後に、より高度な専門臨床能力を身につけたい方については、クリニカル・フェロー、サブスペシャルティレジデントの道も用意されています。

● 地方独立行政法人 東京都立病院機構での東京医師アカデミーの体系



※ 東京都地域医療支援ドクターとは、東京都（福祉保健局）が地域医療の支援に意欲を持つ医師を採用し、医師不足が深刻な市町村公立病院等に一定期間派遣する事業

東京医師アカデミーは 14 病院で 7,000 床を超えるスケールメリットと豊富な症例を活かし、専門臨床研修について、カリキュラムの充実や指導体制の強化等を図り、これまで以上に、臨床を重視した質の高い医師を育成するシステムです。

		広尾病院	大塚病院	駒込病院	墨東病院	多摩総合医療センター	松沢病院
募集人員	医科	6 名	6 名	12 名	14 名	13 名	8 名
	歯科	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	—
選考日程（予定）	医科	9/10（土）	8/6（土）	8/13（土）	8/20（土）筆記 8/21（日）面接	8/13（土）	8/20（土）
	歯科	9/8（木）	8/19（金）	8/13（土）	9/10（土）	8/27（土）	—

		東部地域病院	多摩南部地域病院	大久保病院	多摩北部医療センター	荏原病院	豊島病院
募集人員	医科	3 名	5 名	4 名	5 名	5 名	6 名
	歯科	—	—	—	1 名	1 名	1 名
選考日程（予定）	医科	7/25（月）・8/8（月） 8/29（月）	8/2（火）・23（火）	8/26（金）	7/30（土） 8/13（土）	8/25（木）・26（金）	8/27（土）・28（日）
	歯科	—	—	—	8/12（金）	9/9（金）	9/3（土）

応募資格	令和5年施行の医師国家試験を受験する予定の方	
処遇（令和5年度）	[身 分]	東京都立病院機構 任期付病院職員
	[勤務形態]	週5日勤務（宿直あり）
	[有給休暇等]	1 年目 1 0 日付与。他に夏季休暇等あり
	[報 酬]	採用前に改定があった場合は、その定めによる。 月額約 316,200 円（宿直月 4 回の場合） 他に賞与等あり
	[保 険]	健康保険、厚生年金保険あり
	[宿 舎]	あり（詳細は、各病院にお問い合わせください。）
選考方法 / 出願方法及び 時期	各病院のホームページをご覧ください。	
病院見学	各病院にお問い合わせください。	
ローテイト	所属病院での研修で不足する症例や、経験できない症例がある場合は、病院間の連携により補うことができます。	

注意事項 研修プログラム（募集人員及びスケジュールを含む）については、今後変更となる可能性があります。

広尾病院

救急災害医療センターとして救急医療を重点医療としているため、多数の救急患者を経験でき、総合診療科、麻酔科、救命救急研修がセットで系統的に研修できるプログラムとなっています。また、総合診療基盤を有する地域の基幹病院として急性期医療を担うことから、一般臨床でほとんどすべての疾患、病態を経験することができます。

さらに、先進的な高度医療も経験することができ、多くの学会の認定教育施設になっています。ローテイト診療各科のカンファレンス、各種の教育研修行事に加え、指導医による集合講義、臨床病理検討会など幅広い研修機会を設けています。地域医療として島しょでの研修を行うことができるほか選択科目では関心のある診療科で専門性を深めることもできます。

研修スケジュール(例)		
	1 年次	2 年次
4 月	内科 (消化器内科)	麻酔科
5 月		
6 月	内科 (腎臓内科)	外科
7 月		
8 月	内科 (循環器科)	救命
9 月		
10 月	総合救急診療科	精神科
11 月	産婦人科・小児科	地域医療 (地域 / 島しょ)
12 月		
1 月	選択	選択
2 月		
3 月		

＊一般外来研修は、内科ローテイト時又は地域医療研修時に並行で研修を行う。



研修責任者
腎臓内科部長
田島 真人 (臨床研修管理委員会委員長)

VOICE

当院は、救急医療、災害医療、心臓医療、島しょ医療を担う病院です。救急医療としては『東京ER・広尾』を標榜し、一次救急から三次救急までを扱っています。皆さんには、ER(内科・外科・小児)、救命救急センターの研修を通して、Common diseaseから重症度の高い疾患まで幅広い経験を積んで頂きます。各科間の垣根が低く、横の連携の良い病院であり、救急・重症疾患対応のダイナミズムを経験して頂けると自負しております。また、年に数回ICLS、JMECCといった蘇生コースを開催しており、急変時対応の素養を磨くチャンスが沢山あります。その他、東京都23区内唯一の基幹災害拠点病院として災害医療の基礎を学べ、島しょ医療の一環として八丈島や小笠原諸島での研修を受けることができます。皆さん、我々と共に使命感を持って研修をしてみませんか？



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント (R3採用)
上村 綾音

VOICE

当院では初期研修医がリーダーとして ER での1次,2次救急の対応にあたるため、鑑別診断を考え、必要な検査・診療をするための思考力を身に付けることができます。また指導医の先生方によって開かれる「集合講義」は実践的な知識ばかりで、すぐに実臨床に活用することができ、大変良い刺激となっています。

当院は東京都の島しょ医療の支援を担っており、急患搬送時のヘリ搭乗や離島研修では、院内で培った臨床能力を発揮する良い機会となります。また、当院で研修できない診療科は、協力型病院での研修も可能です。研修医同士は非常に仲が良く、ともに支えあいながら楽しく日々の研修を行っています。そんな当院の雰囲気を感じるためにも、ぜひ一度見学にお越しください。



病 院 の 概 要

救急・災害医療、島しょ医療、心臓病医療及び脳血管疾患医療に重点を置いた総合的な病院であり、「東京ER・広尾」を擁するほか、心臓循環器救急及び熱傷救急にも対応しています。東京都の基幹災害医療センターとなっています。

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
TEL 03-3444-1181
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

病床数

一般396 精神30

診療科目

血液内科、糖尿病内分泌科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科、感染症内科、呼吸器科、循環器科、神経科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、診療放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救命救急センター、救急診療科、内視鏡科、輸血科、検査科

大塚病院

内科24週、外科、小児科、産婦人科、精神科(協力施設)各4週、救急12週(うち4週は協力施設でのER研修も選択可)、地域医療4週に加え、麻酔科8週を当院の必修プログラムとしています。一般外来4週は内科や地域医療などとの並行研修になります。自由選択期間には研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができるような柔軟な対応が可能です。

全研修期間を通じて9～11系列の上級医とともに当直を行い、初期救急の現場における高い臨床能力を培うことができます。さらに各科のカンファランス、指導医によるクルズス、臨床病理検討会、院内発表会、各種学会での発表など幅広い研修機会を設けています。

研修スケジュール(例)		
	1 年次	2 年次
4 月	リウマチ	救急
5 月	内科 (腎臓)	内科 (循環器)
6 月	内科 (呼吸器)	ER (墨東)
7 月	麻酔科	新生児科
8 月		
9 月	外科	地域 (新島)
10 月	救急	小児科
11 月	内科 (消化器)	救命 (墨東)
12 月	内科 (脳神経)	精神科 (松沢)
1 月	小児科	整形外科
2 月	内科 (糖尿病)	泌尿器科
3 月	産婦人科	皮膚科



研修責任者
内科医長
吉川 桃乃 (臨床研修管理委員会委員長)

VOICE

当院は20年以上にわたりローテーション研修による人材の育成に力を注いでおり、充実した診療基盤とスタッフ間の顔の見える関係の両立が際立つ病院です。横の連携がよくフレンドリーな雰囲気 で研修を行うことができます。十分なcommon diseaseの経験に加え、重点医療についての一歩進んだ研修を受けることもできます。常に意欲的に学べるよう、指導医を始めその他の職員が全員でサポートし、オールラウンドな診断能力、チーム医療を通じて患者を治療していく力を育みます。当院で充実した2年間を送ってみませんか。



病 院 の 概 要

当院の重点医療は総合周産期母子医療・小児医療です。母体搬送や超低出生体重児の診療実績は都内有数です。地域中核病院として内科・外科をはじめとする総合診療基盤も充実しており、各種がん専門医による診断・治療から緩和ケアまで、リウマチ膠原病をはじめとする難病医療、地域医療との連携を重視した二次救急にも積極的に取り組んでいます。

〒170-8476 東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
TEL 03-3941-3211
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

病床数

一般418

診療科目

内科、児童精神科、神経科、リウマチ膠原病科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、口腔科、診療放射線科、救急診療科



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント (R3採用)
山本 真之介

VOICE

大塚病院は約420床の中規模病院で数多くの診療科を展開しているため、新生児から高齢者までのcommon diseaseを幅広く経験することができます。また上級医をはじめ、スタッフの方々 はみなフレンドリーで非常にアットホームな雰囲気です。加えて、研修医が科の垣根を超えて上級医へ質問をすることもでき、充実した研修が行えます。週に1回の勉強会や年に1～2回の院内の症例発表会があるため、教育体制も整っています。ぜひ一度見学に来て、ここだけでは伝えきれない当院の魅力や研修の雰囲気を味わってもらえたら嬉しいです。大塚病院でお待ちしております。

駒込病院

- (1) 内科系コース、外科系コースを設定しています。
- (2) 内科系コースは消化器、呼吸器、循環器、脳神経、血液、腎臓、肝臓、膠原病、糖尿病・内分泌に加え、腫瘍内科、感染症科、総合診療科など専門性の高い研修ができます。2か月の自由選択枠を設けています。
- (3) 外科系コースは外科(食道、胃、大腸、肝胆膵、呼吸器、乳腺)を6か月ローテートします。自由選択枠も3か月あり外科系診療科から選択可能です。
- (4) 救急部門、小児科、産婦人科など当院で経験が難しい部門は、連携する都立病院で研修できます(広尾病院、墨東病院、大塚病院、小児総合医療センターなど)。
- (5) 内科系、外科系ともに初期研修から後期研修(新専門医制度)、サブスペシャリティーと縦に繋がる研修ができます。

研修スケジュール(例)

● 内科系の1例

	1 年次	2 年次
4 月	内科 (1)	内科 (6)
5 月	内科 (2)	選択 (1)
6 月	総合診療科	選択 (2)
7 月		地域
8 月	広尾 ER	外科
9 月	内科 (3)	
10 月	内科 (4)	内科 (7)
11 月	小児科	精神科
12 月	産婦人科	内科 (8)
1 月	麻酔科	内科 (9)
2 月		内科 (10)
3 月	内科 (5)	内科 (11)

● 外科系の1例

	1 年次	2 年次
	外科	選択
		選択
	内科 (1)	外科
	総合診療科	
	広尾 ER	選択
	内科 (4)	内科 (5)
	麻酔科	
	外科	小児科
		産婦人科
	地域	精神科
	内科 (2)	
	内科 (3)	内科 (6)

※選択1：内科9科、腫瘍内科、感染症科の11科、および墨東病院ER、墨東病院救急救命センターから選択

※選択2：臨床検査科(超音波)を除く各診療科

※外科系の内科ローテーション：消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病内科、感染症科

※外科：食道、肝胆膵、胃、大腸、乳腺、呼吸器



VOICE

研修責任者
副院長
岡本 朋

当院は下町風情が漂う谷根千(やねせん)地区に隣接する高台に位置しています。都道府県がん診療連携拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、エイズ診療中核拠点病院としての専門各科と、それを支える一般診療各科が充実しています。臨床研修には恵まれた環境です。経験豊富な各診療科スタッフや先輩レジデントたちが熱心に指導してくれま



VOICE

内科系ジュニアレジデント経験者
シニアレジデント (R3採用)
内藤 裕

私は感染症やがんに興味を持っていたことと、病理科志望で、駒込病院の病理部が充実していたことから初期研修先として駒込病院を選ばせていただきました。また見学したときに初期研修医の先生方や研修医室の雰囲気が好きだったことも研修先として選んだ一因でした。実際に研修してみて、科によっては、がんだけではなく炎症性疾患や市中の一般感染症も他病院と同じように勉強することができることがとてもよかったと思っています。



VOICE

外科系ジュニアレジデント経験者
シニアレジデント (R3採用)
船津 のぞみ

駒込病院での外科研修は、1年次から指導医による手厚い指導下にて手術を執刀する機会が豊富にあり、腹腔鏡手技の実習など実践に向けた経験も多く積むことができます。市中病院の利点でもある豊富な経験や知識の獲得だけではなく、大学病院で特徴的な学会発表や論文執筆の機会もありアカデミックな側面も持ち合わせています。切磋琢磨しつつも楽しく、充実した研修生活を過ごしています。ぜひ、一度見学にきてください。



VOICE

研修責任者
脳神経内科医長
水谷 真之

日常診療から高度な専門医療まで幅広い診療を行う当院でのプログラムは、豊富な症例、教育熱心な指導医やシニアレジデントの存在など、医師の初期研修にふさわしい環境です。また、初期研修後の専門医コースも多数の基幹プログラムを有しており、初期研修から専門医制度での研修も続けて受けることも可能です。当プログラムではやる気に満ちた研修医を募集しています。ぜひ一緒に働きましょう。



VOICE

ジュニアレジデント
ジュニアレジデント (R3採用)
前村 直輝

当院は 23 区東部の総合病院であり、周辺地域で発生する多様な疾患に対応できる、広域基幹病院の役割を担っています。中でも救急部門においては、昼夜問わず多くの症例を受け入れており、将来どんな場面においても“動ける医者”になるための基礎作りとして、最適な研修をすることができます。後期研修も見据えられる充実した研修プログラムと十分かつ幅広い症例、全国から集まる血気盛んな同志といった恵まれた環境で、医師としてのスタートを切りませんか。皆様の見学を心よりお待ちしております。



病院の概要

各診療科の総合基盤を備えた、がんと感染症を重視した病院です。臓器別、疾患別に37の診療科に分かれ、それぞれ先端的専門医療を提供しています。各診療科が協力して重症患者の診療、全人的医療を行っています。平成19年8月に「エイズ診療中核拠点病院」、平成20年2月に「都道府県がん診療連携拠点病院」、平成25年10月に「造血幹細胞胚移植推進拠点病院」、令和元年9月に「がんゲノム医療拠点病院」に指定され、全国から多数の患者を集めています。

〒113-8677 東京都文京区本駒込三丁目18番22号
TEL 03-3823-2101
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

病床数

一般815 感染症30

診療科目

内科(消化器、呼吸器、循環器、脳神経、血液、腎臓、肝臓、膠原病、糖尿病・内分泌)、総合診療科、腫瘍内科、緩和ケア科、精神腫瘍科・メンタルクリニック、小児科、外科(食道、肝胆膵、胃、大腸、乳腺、呼吸器)、整形外科、リハビリテーション科、骨軟部腫瘍科、脳神経外科、皮膚腫瘍科、形成再建外科、腎泌尿器外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、感染症科、感染制御科、遺伝子診療科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科(診断部、治療部)、輸血・細胞治療科、内視鏡科、病理科

墨東病院

- (1) 1年次は、内科5～6か月、ER(救急医療研修)2か月とともに、外科、麻酔科は必修とし、小児科・産婦人科・精神科を研修する場合があります。
- (2) 内科は①消化器②呼吸器③循環器④血液⑤腎臓・膠原病⑥内分泌・脳神経⑦感染症の7グループでの研修とします。
- (3) 救急医療研修3か月については1年次の2か月間ERでの日中の診療と、2年次に月4回のER当直を従事することで3か月の研修とします。
- (4) 2年次は、1年次の内科必修残、地域医療、小児科・産婦人科・精神科(1年次で研修を行っていない場合)、一般外来1か月は全員が必修で、残りの自由選択については各々の将来志望診療科・要望に応じて相談の上、設定していきます。

研修スケジュール(例)		
	1 年次	2 年次
4 月	内科 (7 グループの内 3 グループをローテート)	小児科
5 月		産婦人科
6 月		精神科
7 月		一般外来
8 月		地域
9 月		自由選択
10 月	ER (救急)	
11 月		
12 月	麻酔科	
1 月		
2 月	外科	
3 月		

※ 詳しくはホームページをご参照ください。

※詳しくはホームページをご参照ください。



病院の概要

墨東病院は東京都の区東部(墨田区、江戸川区、江東区および葛飾区の一部)の約百数十万人の医療圏をカバーする広域基幹病院です。周辺に同様の病院が少ないことから、あらゆる救急医療から、基幹病院としての専門性も必要とされる地域の最終病院です。

〒130-8575 東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
TEL 03-3633-6151
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

病床数

一般719 精神36 感染症10

診療科目

消化器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、総合診療科、循環器科、神経科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、新生児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、歯科口腔外科、感染症科、救急診療科、救命救急センター、麻酔科、診療放射線科、輸血科、内視鏡科、病理診断科

多摩総合医療センター

本物の実力をつけたい方のための教育環境

- (1) プライマリ・ケア（6年間一貫教育）
- (2) コア・カリキュラムの実施
- (3) 年次別到達目標：(J1) 単独診療能力、(J2) 主治医能力
- (4) 総合診療能力の修得（2年間の救急外来研修）
- (5)「けが」診療能力の修得
- (6) 独自の評価システム（救急外来グレード試験）
- (7) 予備枠（補修研修プログラム・拡張研修プログラム）の創設

研修スケジュール（例）		
	1 年次	2 年次
4 月	救急外来	呼吸器
5 月	脳外	
6 月	麻酔科	精神科
7 月		予備枠
8 月	消化器	救命救急センター
9 月		産婦人科
10 月	放射線	小児科
11 月	総合診療	
12 月	循環器	救急外来
1 月		内科 2
2 月	外科	整形外科
3 月		地域



病 院 の 概 要

多摩地域における総合的な 医療機能を持つ病院として、救急医療、脳血管疾患医療、生活習慣病医療、難病医療、リハビリテーション医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療及び造血幹細胞移植医療を重点医療とし、高度・専門医療を実施しています。

〒183-8524 東京都府中市武蔵台二丁目 8 番 29 号
TEL 042-323-5111

病床数

一般 705 精神 36 結核 48

診療科目

総合内科、腎臓内科、消化器内科、内視鏡科、内分泌代謝内科、感染症科、緩和ケア科、血液内科、脳神経内科、神経・脳血管内科、呼吸器・腫瘍内科、循環器内科、精神神経科、外科、乳腺外科、呼吸器外科（胸部外科）、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リウマチ膠原病科、リハビリテーション科、診療放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理・検査科、救急総合診療センター、救命救急センター

松沢病院

総合診療基盤を有する大規模精神科病院を基幹病院とするプログラムです。精神科医と、内科や外科などの指導医が、協同して指導にあたることにより、特に将来、精神科を志す者に必要な、総合的診療力を養成します。

研修期間を通じて、カンファレンス、講演会、当直等様々な機会に、精神科診療の実際に触れることができます。身体科の研修も非常に充実しており、内科、外科、麻酔科や放射線科については基幹病院で、熱心な指導医からマンツーマンに近い指導を受けることができます。また協力型病院との強力なネットワークを背景に、救急医療、小児科、産婦人科、その他専門的診療科についても、人気の研修病院で研修ができます。

研修スケジュール(例)		
	1 年次	2 年次
4 月	精神科	精神科
5 月	内科	内科
6 月	外科系	
7 月		小児科
8 月	内科	産婦人科
9 月	麻酔科	多摩 ER
10 月	内科	
11 月		
12 月	消化器外科	地域医療
1 月	放射線科	選択
2 月	内科	
3 月	精神科	



病 院 の 概 要

当院は1919年開院の歴史を有しながら常に日本の精神科医療を牽引してきました。緑豊かな広大な敷地と最新の施設を有し、急性期精神科医療を中心とした専門性の高い精神疾患に対応すると共に、他の医療機関や保健・福祉施設などとの密接な連携を推進し、東京都における精神科医療の拠点としての役割を果たしています。

〒156-0057 東京都世田谷区上北沢二丁目 1 番 1 号
TEL 03-3303-7211
※見学等のお問い合わせは庶務課臨床研修担当まで

病床数

精神 808 一般 90

診療科目

精神科・内科・外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・放射線科・歯科・検査科



研修責任者

眼科部長

大野 明子（臨床研修管理委員長・プログラム責任者）

初期研修プログラムの選択に悩んでいる医学生の皆様へ

長い医師のキャリアのスタートという一生記憶に残る大切な時期を全国に多数ある初期研修プログラムのどれで過ごすか、難しい選択だと思います。

ぜひ目先のことではなく、将来どのような医療人になりたいか、よく考えてください。そのうえで、最初の2年間はしっかりプライマリケアを習得したいと決心したら、多摩総合医療センターをお勧めいたします。温かい、かといって生ぬるくはない研修環境は見学に来ていただくと感じ取れると思います。



ジュニアレジデント

ジュニアレジデント（R3採用）

寺島 久美子

当院の研修プログラムの特徴は必修の診療科が多いことです。プライマリケアに必要な基本的臨床能力を身につけるには最適だと思います。将来の進路にかかわらず、医師として幅広い視野を身につけたい人にはぜひおすすめしたいプログラムです。

また当院は「人」に恵まれた病院だと思います。研修医は穏やかですが努力家な人が多く、日々刺激を受けながら過ごしています。指導医の先生方は教育熱心で、こちらのやる気さえあればいくらかでも応えてくださいます。ぜひ一度病院見学に来ていただいて、多摩総合のあたたかい雰囲気を感じてください。



研修責任者

整形外科医長

吉田 滋之（初期臨床研修管理委員長）

松沢病院では、世界を代表する精神科医師の育成、精神疾患に合併した身体疾患の初期対応が可能な精神科医師の育成を研修目標に掲げております。研修段階から精神疾患患者の身体合併症医療を経験可能です。また、松沢病院では指導医と研修医の距離が近く濃密な研修が可能です。最初のターンでは指導医・初期臨床研修医 2 年目・初期臨床研修医 1 年目が屋根瓦方式で研修します。その後は指導医と初期臨床研修医が 1 対 1 での研修となります。

松沢病院では職員一同が皆様のことを心よりお待ちしております。



ジュニアレジデント

ジュニアレジデント（R3採用）

樋口 舞

松沢病院では、特徴ある各精神科病棟での研修や外来・当直での先生方の診察を間近で見ることができ、初期研修の間から精神科医療を学ぶことが出来ます。また、精神科だけではなく、内科をはじめとする身体科でも、ほぼマンツーマンできめ細かい指導が受けられることも大きな魅力です。精神科を志す同期とは、業務のことだけではなく、将来についても相談しあうことができ、とても心強い環境です。皆さんも松沢病院で素敵な 2 年間で過ごしてみませんか？

東部地域病院

内科 6 か月（消化器・呼吸器・循環器各 2 か月）、救急部門 3 か月、外科 3 か月、麻酔科 2 か月、小児科 2 か月、地域医療 1 か月、産婦人科 1 か月、精神科 1 か月を必修プログラムとしています。

地域医療は当院及び近隣協力施設、離島等での研修、救急部門は墨東病院あるいは順天堂大学医学部附属順天堂医院での研修、産婦人科及び精神科は順天堂医院での研修となります。

自由選択期間 5 か月については、研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができます。必修プログラムの診療科のほか、整形外科、脳神経外科、放射線科、泌尿器科、眼科、病理診断科を加えた診療科のなかから、1 科目を月単位で最大 5 コマまで選択可能です。

研修スケジュール(例)		
	1 年次	2 年次
4 月	内科(消化器)	小児科
5 月		
6 月	内科(呼吸器)	地域医療
7 月		
8 月	内科(循環器)	救急部門 (墨東病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院)
9 月		
10 月	外科	産婦人科(順天堂医院)
11 月		精神科(順天堂医院)
12 月		選択研修 (東部地域病院 / 墨東病院 順天堂大学医学部附属順天堂医院)
1 月	救急部門(墨東病院 / 順天堂医院)	
2 月	麻酔科	
3 月		



病 院 の 概 要

東京都の東部地域（葛飾・足立・江戸川・墨田・江東・荒川の各区）における中核病院です。急性期疾患を対象にがん医療、救急医療を中心に二次医療を行っています。地域医療支援病院（都内指定第 1 号）として、地域の医療機関（診療所等）と積極的な連携を図りながら、医療の継続性を確保し、地域住民の方々に適正な医療を提供しています。

〒125-8512 東京都葛飾区亀有五丁目 14 番 1 号
TEL 03-5682-5111

病床数
一般 314

診療科目
内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科

多摩南部地域病院

スーパーローテート方式により、内科、外科、小児科、救急、緩和ケア、精神、地域医療、産婦人科を必修科目とし、6 4 週で効率よく研修し、残り 4 0 週を選択診療科目として各研修医個別のプログラムを組むことが可能となっています。特に、重点医療（救急・がん医療）に関連する診療科である循環器内科、整形外科、放射線科（診断・治療）、検査科（病理）では研修体制も整っています。C P C のほか地域医療支援の研修会が行われています。

研修スケジュール(例)			
	1 年次	2 年次	
4 月	内科 ＋ 一般外来	小児科	
5 月		産科 (日本医科大学)	
6 月		精神 (桜ヶ丘記念病院)	
7 月		地域医療 (天本病院)	
8 月	循環器内科＋一般外来	緩和ケア	
9 月		選択	
10 月			
11 月			
12 月			
1 月	外科＋一般外来	救急 (当直)	
2 月			
3 月	救命救急 (日本医科大学)		救急 (当直)
	麻酔科		



病 院 の 概 要

東京都南多摩保健医療圏（八王子・町田・日野・多摩・稲城の 5 市）の中核病院として、「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関と密接に連携し、救急医療・がん医療を重点医療として取り組んでいます。特に、がん医療では、包括的にがん医療を提供できるよう平成 2 5 年 7 月から緩和ケア病棟を開設しました。

〒206-0036 東京都多摩市中沢二丁目 1 番 2 号
TEL 042-338-5111

病床数
一般 287

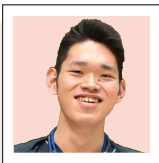
診療科目
内科、精神科、循環器内科、消化器内科、小児科、緩和ケア科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、検査科（病理科）



研修責任者
副院長
鈴木 聡子（臨床研修管理委員長）

当院は地域医療支援病院として認定され、地域医療機関との連携を密にした病院です。

当院では、研修を通じて疾患のみではなく患者さんを全体としてとらえ、プライマリケアのできる医師の基礎を学ぶことができます。優秀な指導医・スタッフのもと、アットホームなやさしさの中にも厳しさを忘れない充実した研修ができると確信しております。ぜひ、東部地域病院の門をたたいてみてください。病院見学も大歓迎です。ご連絡をお待ちしております。



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント（R4 採用）
平田 幹雄

当院の特徴として、中規模市中病院ならではの common disease の多さ、各診療科や部門間の垣根の低さ、自由度の高さが挙げられます。各分野において頻度の高い疾患を経験できること、上級医やコメディカルに気軽に質問できることも魅力です。また、墨東病院や順天堂医院に行くことができ、より専門的な研修や視野の広さを得ることができます。大規模病院にはない充実した研修生活を送ることができると思います。ぜひ一度見学に来てみてください。



研修責任者
副院長
橘 俊一（臨床研修委員会委員長）

当院は南多摩地域のの中核病院として、地元医師会や病院施設との連携をはかりつつ、救急医療・がん医療に重点をおいて診療を行っております。病床数は 3 0 0 床程度と中規模ではありますが、それゆえ各診療科間の垣根は低く、専門領域の意見を統合することが容易であり、患者さんの診断・治療を効率よくスムーズに行うことができます。また事務や看護・各コメディカルなどの病院スタッフともほとんど顔のわかる距離感で働けるため、いろいろな診療の場面においても、コミュニケーションの取りやすい環境にあります。新しい場所で働いていくことに不安のある方も、ぜひ安心して研修に参加して下さい。

がん医療においては、診断・治療はもとより、緩和ケア病棟（平成 2 5 年開設）における終末期医療までを行う体制にあります。地元医師会とも連携して、在宅での BSC などへの移行も積極的にすすめています。

研修プログラムは、総合的な臨床医の育成を目指すことを基本としており、産婦人科・精神科・緩和ケア科を必修科として残しながら、8 カ月間の選択期間において研修医個別のプログラムを組める様になっています。

東京郊外の印象がある多摩センター駅ですが、新宿から電車で約 3 0 分であり、都心に近くて自然に恵まれたバランスの良い立地条件に病院が存在しています。落ち着いた環境のもとで、充実した研修生活を送りたい方を待っています。



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント（R4 採用）
眞船 俊大

私が考える当院の特徴は、中規模病院ならではのスタッフ同士の距離の近さです。

豊かな知識と経験でご指導くださる上級医の先生方、私達と近い目線で一緒に考えてくださるシニアレジデントの方々、そして気軽に何でも相談できる 2 年目の初期研修医の先輩方から日々直接学ぶことができます。

研修医室は和気藹々としており、採血の練習など自主的に取り組んでいます。手技をする機会に恵まれる一方、自学する時間も確保できるため、自分のペースで研修したい人にはお勧めです。ぜひ一度見学にお越しください！

大久保病院

当院ではさまざまな症例があります。新たな臨床研修制度に準拠し、内科（6診療科）36週、外科8週、麻酔科8週、小児科・産婦人科・精神科・地域医療各4週（院外）を必修とし、救急12週については、ブロック研修4週（院外ER）の他、麻酔科4週分、さらに当直を並行研修として含めることにより12週とします。希望選択期間は32週（4週単位を基本）あり8週以内の院外研修が可能です。一般外来研修は内科・外科研修期間中に週1回半日を並行研修として行います。

	1 年次	2 年次
4 月	内科 （腎臓、消化器、呼吸器、糖尿病、循環器、神経）	救急
5 月		地域医療
6 月		精神
7 月		小児科
8 月		産婦人科
9 月	外科	選択
10 月		
11 月		
12 月		
1 月		
2 月	麻酔科	4 週救急
3 月		



研修責任者

内科部長

原 由紀子（臨床研修委員会委員長）

VOICE

当院の研修制度の特徴は、①2次救急ながら、救急外来での症例を多く経験できるため、一般の初期診療が身につく、②内科では毎週月曜日に、内科認定医試験のレポートに基づいた形式で、経験した症例の提示をおこなうため、症例報告の能力が高まる、③研修医の数が少ないので、各科のローテーションで丁寧な指導（実技も含めて）をうけられることです。多忙な一般病院では、時々臨床の現場についていかれず、研修医が放置されることがありますが、当院では、臨床研修医委員会を月に1回おこない、研修医の習得度とともに指導状況をチェックしています。



大久保病院で行う初期臨床研修は common disease に触れる機会が多くあります。当直では1年目の4月から救急外来のファーストタッチを行うことで、早くから総合的な診断力を身につけ、治療方針を立てることができるようになります。内科ローテーション中には毎週月曜日に症例発表会があり、プレゼンテーション能力を養う機会が設けられていると共に、内科専門医制度に準じたレポートを作成し、1つ1つの疾患について理解を深めることができます。そのほか日々の業務に処置当番があり、手技を豊富に経験できます。2年目では、大久保病院だけでなく複数の協力型病院等での研修を選択することができ、各々の病院の特徴を生かした多くの経験を得ることのできるプログラムとなっています。充実した2年間を過ごすことのできる病院です。皆さんと一緒に働くことを心よりお待ちしております。



病院の概要

大久保病院は、新宿区歌舞伎町に位置する区西部医療圏（新宿区、中野区、杉並区）の中核病院です。急性期病院として、腎医療、循環器医療、脳卒中医療、がん医療、救急医療（二次救急中心）を重点医療とし、また地域包括ケア病棟をもつ地域医療支援病院として地域の医療機関や住民と密接につながった地域医療を推進しています。当院周辺には在留外国人も多く、病院の国際化にも取り組んでいます。

〒160-8488 東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号
TEL 03-5273-7711

病床数
一般304

診療科目
内科（消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、脳神経内科、救急科）、外科（一般外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科）、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科/移植外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、精神科、皮膚科、病理診断科

多摩北部医療センター

本プログラムは基本的検査、基本的診療を身に着けることに重点を置いています。主疾患（専門的診療）はもちろん併存する疾患・病態に対する治療など総合的診療ができるプログラムになっています。1年目の秋頃より自由選択期間を設け、将来進む可能性のある診療科をできるだけ早い時期に経験できるようにしています。2年次後半には、この期間を利用して弱い部分を補強したり、興味のある専門分野を重点的に研修したりすることも可能です。

研修スケジュール (例)		
	1 年次	2 年次
4 月	基礎研修	
5 月	基本研修 (内科系)	産婦人科 (多摩総合医療センター)
6 月		精神科 (国立精神 / 神経医療研究センター)
7 月		地域医療 (他院診療所)
8 月		自由選択6 ※2年次研修は応相談で時期の組替可。
9 月		
10 月		
11 月	消化器内科	
12 月	循環器内科	
1 月	選択	
2 月	選択	
3 月	救急	
4 月	外科	
5 月	小児科	



研修担当をしています腎臓内科の小林です。当院の初期研修の目標は①救急病態への初期対応ができること、②3年目以降の専門研修へスムーズに繋げていくことです。無理をして詰め込み過ぎて、燃え尽きてしまうのは考え物ですが、かと言って時間を持て余してしまうのはもったいないです。当院のプログラムは、その点バランスが取れていると思いますし、2学年併せても10名前後ですので臨機応変な細かい調整も可能です。基礎をしっかり学んで、3年目にロケットスタートが切れるように一緒に頑張りましょう。



プライマリーケアの経験を積みたいけど自分で勉強する時間もほしい方には、当院の研修プログラムは最適だと思います。各科をローテする研修医は基本的に1人なので、症例の取り合いはなく、経験豊富な指導医の先生方が何事も丁寧に優しく教えてくださいます。アカデミックな面でも、各科の先生方によるレジデントセミナーなどが設けられておりとても充実しています。ぜひ一度、“たまほく”に見学いらして雰囲気を感じていただければと思います。



病院の概要

北多摩北部医療圏（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）の中核病院として、二次救急医療を担っています。小児から超高齢者まで全年齢層を診療対象とし、地域医療支援病院として、地域住民に安全・安心な医療を提供しています。平成30年度に病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）、令和2年に外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）の認定を受け、チーム医療の充実に努めています。

〒189-8511 東京都東村山市青葉町一丁目7番1号
TEL 042-396-3811

病床数
一般337

診療科目
内科、内分泌・代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、小児科、精神科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、麻酔科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、リウマチ膠原病科、病理診断科

荏原病院

地域中核病院として common diseases を中心に幅広く症例を経験できます。二年目には墨東病院救命救急センターで三次救急（必修）を研修します。当院には膠原病内科、腎臓内科、血液内科がありませんが、選択期間を利用して、大久保病院腎臓病内科、東邦大学医療センター大森病院膠原病内科、駒込病院血液内科で研修を行うことができ、内科系のすべての診療科を網羅しています。各診療科、コメディカルと多職種でのチーム医療を実践しており、アットホームな雰囲気であって指導医、上級医とマンツーマンできめ細やかな指導が受けられます。

研修スケジュール (例)		
	1 年次	2 年次
4 月	内科 (24 週)	墨東救急 (4 週)
5 月		産婦人科 (6 週) 小児科 (6 週)
6 月		
7 月		地域医療 (4 週)
8 月		
9 月		精神科 (4 週)
10 月	救急部門 (4 週)	自由選択 (24 週)
11 月	外科 (8 週)	
12 月		
1 月	麻酔科 (8 週)	
2 月		
3 月	放射線科 (4 週)	



研修責任者
小児科医長
滝 元宏

当院の初期研修プログラムでは、多様化を続ける医療に対応できる人材の育成と、キャリアパスの個性性へ配慮し、自由度の高いプログラムを提供しております。二次救急病院、市中病院ならではの数多くの common diseases を経験することができ、更に、各自の将来目標に合わせた個別ローテーションを組み、将来に生きるよう、幅広い選択肢の中から希望に合った研修を組むことが出来ます。また、研修医同士で経験を分かち合い、先輩医師から学び、お互いに切磋琢磨できる、厳しくも温かい研修環境もあります。皆さんの先輩として、臨床医の厳しさや喜びを分かち合いながら、充実した研修生活が過ごせる様にサポートをしていきたいと思ひます。

VOICE



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント (R3採用)
岩渕 涼

当院は東京都大田区の総合病院であり、地域の中核病院としての役割を担っています。研修は各科 1-2 名で行うため、上級医の先生方から丁寧な指導を受けることができ、手技の機会も十分あります。初期研修医は出身大学問わず全国から集まっていますが、とても仲が良くお互いに切磋琢磨しながら研修に励んでいます。中規模の病院で診療科も揃っており、落ち着いた環境で充実した 2 年間を過ごすことができるかと思ひます。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気を感じてみてください。

病 院 の 概 要

当院の理念は、「医療で地域を支える」であり、大田区、品川区を中心に地域に密着した中核病院として機能しています。二次救急、脳血管疾患および集学的がん治療を重点医療とし、コロナ禍においては東京都の感染症指定病院として診療にあたっています。また、精神科医療等のいわゆる行政的医療も行っています。さらに、小児科、周産期医療も学ぶことができる正に総合病院です。

〒145-0065 東京都大田区東雪谷四丁目5番10号
TEL 03-5734-8000

病床数

一般 411 精神 30 感染症 20

診療科目

内科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、感染症内科、病理診断科



豊島病院

医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の果たすべき社会的要請を意識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身につけることができる研修プログラムとなっています。また、地域医療（医師会の協力による地域医療機関での研修）、二次救急、CCU ネットワーク、周産期医療、精神科救急、二類感染症医療、緩和ケアなど特色ある機能を生かしたプライマリケアを中心とする初期研修を行うことができます。さらに、地域医療を経験していくことで高度医療との関わりを学ぶことができます。

研修スケジュール (例)		
	1 年次	2 年次
4 月	内科 (28週) (呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・ 内分泌代謝内科・腎臓内科・ 神経内科・血液内科・感染症内科 より 6 科選択)	地域医療 (4 週)
5 月		精神科 (8 週)
6 月		
7 月		救急 (12 週※ 4 週まで麻酔科可)
8 月		
9 月		
10 月	外科 (12 週)	自由選択 (28 週)
11 月		
12 月		
1 月	小児科 (6 週)	
2 月	産婦人科 (6 週)	
3 月		

研修スケジュール (例)

VOICE



研修責任者
検査科部長
鄭 子文 (臨床研修委員会委員長)

豊島病院は、板橋区の中核病院として救急医療やがん医療、脳血管疾患医療、医療連携に重点的に取り組んでおり、東京都の感染症指定医療機関としても最前線で感染症に対応しています。当院の臨床研修システムは、一般疾患の診療力の向上に重点を置き、そのための指導医が多く揃っています。各科でのカンファレンスやイブニングレクチャーのほか、研修医主体の勉強会もあります。各科とも積極的な医療を行っており、手技・治療に初期から数多く経験できるのが当院の特徴です。豊富な症例と各科の垣根がほとんどないことで、充実した研修ができます。



病 院 の 概 要

地域医療支援病院として地域との連携を重視した医療を推進しているが、重点医療課題として
（１）救急医療：急性期の患者を対象に、三次救急に近い急性心筋梗塞・吐血・脳卒中などを含め、二次救急医療機能を担っている。
（２）がん医療：当院は東京都大腸がん・胃がん診療連携協力病院に認定されており、高度の画像診断に基づく最先端の化学療法・放射線療法や低侵襲の内視鏡手術を実施するとともに、緩和ケア病棟を備え、がん患者の肉体的・精神的苦痛の緩和や家族に対する心理的支援に取り組んでいる。
（３）脳血管疾患：脳卒中専門病床（SCU）を整備し、24 時間体制で対応する脳血管疾患医療を行っている。
その他の特色ある医療として、精神科救急、周産期医療、感染症医療などがあげられる。

〒173-0015 東京都板橋区栄町33番1号
TEL 03-5375-1234

病床数

一般 386 精神 32 感染症 20

診療科目

内科、神経内科、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、感染症内科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科

VOICE



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント (R3採用)
飯島 千晴

豊島病院は、救急医療・がん医療・脳血管疾患医療を 3 本柱に据え、周産期医療・精神科救急医療・感染症医療・緩和ケア医療にも重きを置いています。当直では 1 年目、2 年目がベアとなり walk in と救急搬送の初期対応を行います。また、1 年次には内科・外科をひと通り研修ができ、2 年次には総合内科外来を担当し、2 8 週の自由選択期間では院外の協力病院での研修も可能です。年度末には、自身が学んだ症例を発表する機会があり、アカデミックな研修も可能です。ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております。